



裁判員等経験者と法曹三者との意見交換会では、次のような御意見や御感想、これから選任される可能性がある方へのメッセージ等を頂戴しました。裁判員になるとはどのようなことなのか、その様子を是非御覧ください。

(令和5年2月16日、静岡地方裁判所沼津支部において開催)

・事件にかかわることにより、被告人側も被害者側も生活が大きく変わってしまうだろうし、裁判員裁判になるような事件ではより影響が大きいと思うので、そのような事件が一件でも減るようにと願う気持ちは強くなった。

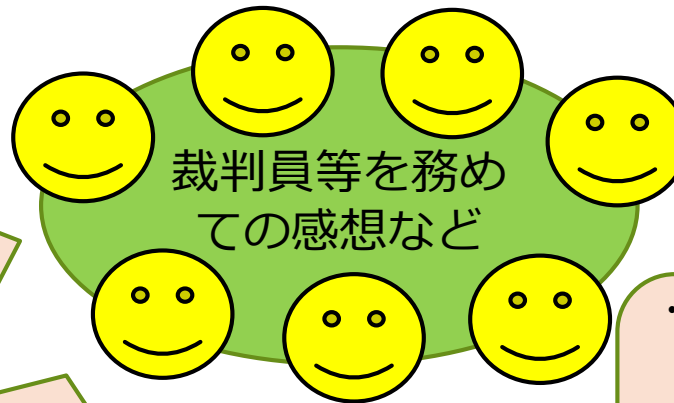
・判決が出るまでのプロセスを知ることができ、いい経験になった。

・選任手続の呼出が届いたときは興味半分であったが、実際に裁判員に選任された後、裁判官や他の裁判員、補充裁判員の方々と様々な議論を交わすことは、非常に刺激になった。

・裁判の流れについての説明は、裁判員選任後に聞いたが、しっかり理解できておらず、裁判はあっという間に終わってしまったという印象であった。

・裁判官や他の裁判員補充裁判員の方々とともに事件に真摯に向き合い、評議を重ねることで次第に理解が深まり、意見がまとまっていくのを感じた。

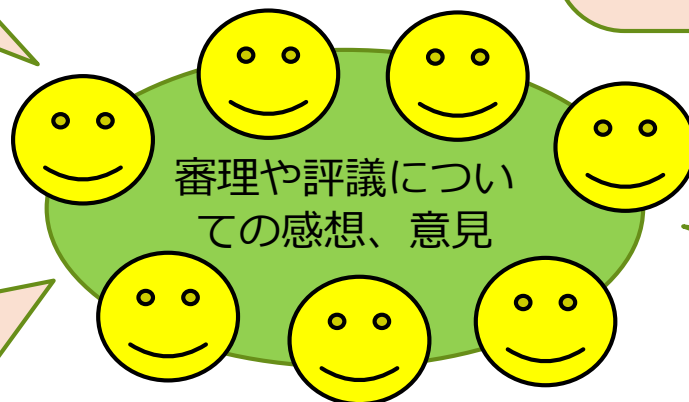
・裁判員選任後、予備知識は必要ないという説明があり、安心できた。裁判の途中、分かりにくくて困った場面でも、裁判官が丁寧にサポートしてくれて助かった。ただ、事件の内容に応じ、どのような点に注意が必要なケースなのかという点についての説明やアドバイスも最初に聞きたかった。



裁判員等経験者との意見交換会

- ・裁判の中で、精神鑑定についての医師の証人尋問が行われたが、内容は非常に分かりやすく、勉強にもなった。

- ・裁判の中で、心神耗弱というあまりなじみのない言葉が出てきたが、弁護人の冒頭陳述メモや弁論メモは長文が羅列されているだけのものではなかったので、言葉の定義など必要なことは書かれていたと思うが、分かりにくかった。



- ・例えば音の大きさがどれくらいであったかを明らかにする場合など、立証する内容によっては、動画や映像を用意した方が分かりやすいのでは、と感じる場面もあった。

- ・ある程度評議が進んだ段階で、量刑に関し、過去の裁判例が示されたが、それで着地点が見えてしまったと感じた。



裁判員等経験者との意見交換会

・一人ではなく、みんなで考えていくものなので、裁判員を務めることは思ったほど大変ではなかったと伝えたい。

・これから裁判員に選任される可能性がある方々に対しては、いい勉強になるので、選任手続の呼出が届いたら、まずは参加するように勧めたい。

・裁判員裁判に参加することで、他の方の様々な考えや見方に触れることができ、大いに参考になった。一方で、まだ知識や経験が限られているであろう若い世代に対しては、高校での模擬裁判を行うなど、制度を知ったり体験したりできる機会を増やすといった広報面でのサポートの充実を望みたい。

・裁判員を務めるには、人を裁くことの重さを受け止め、それに耐えられる精神が必要だと考えているので、例えば若い世代である自分の孫が候補者になった際に、参加を積極的に勧められるかという点、否定的に考えてしまうところはある。裁判員制度自体については、法律のプロではない人が混ざることにより、その時代の価値観を裁判に反映していけるという点が魅力だと感じている。

・若い世代に対しては、人生経験のある年配者も加わって議論していくから、そのような場で自分の意見を述べたりすることで感覚を高めていけると思うので、ぜひ参加してほしいと伝えたい。

・選任手続の呼出が届いた時点では、選任された場合のことはその後に考えればいいだろう、といった気持ちでいたが、いざ選任されてみると、人を裁くことについての責任は重いと感じた。また、裁判所の感覚と一般の感覚との違いを痛感させられることもあったが、裁判員を務めることは、とてもためになると言いたいし、この先また選ばれることがあれば、参加したいと思っている。



裁判員等経験者との意見交換会